

2025 年日本国際博覧会 ガスパビリオンの概要について

2023 年 3 月 23 日

一般社団法人 日本ガス協会

一般社団法人 日本ガス協会（以下、日本ガス協会）は、2022 年 5 月に 2025 年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）への出展を決定し、その後、具体化検討を進めてきました。このたび、ガスパビリオンのコンセプト、名称、建築デザインなどを決定しましたので、お知らせします。

1. パビリオンコンセプト

『化ける、未来！』

私たち一人ひとりが、大切な人のため、地球のために、意識や行動を大きく変える（化ける）ことで、やがて、社会が、世界が、希望に満ちた姿が変わっていく（化ける）。

日本にガスの明かりが灯ってから 150 年あまり。ガス業界は、原料を石炭や石油からより環境にやさしい天然ガスに転換し、省エネルギーに資する技術開発などにより、低炭素化に貢献してきました。

そして現在、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて、さらなる進化、つまり「化ける」ことが必要と考えます。その取り組みの一つが、地球温暖化の一因とされる二酸化炭素（以下、CO₂）をリサイクルし、e-methane（e-メタン）（*1）という新しいエネルギー（都市ガス）に変える技術の開発。CO₂が増えずに循環し、未来のエネルギーに化けることで、地球温暖化の抑制に貢献します。

未来に向かって化けるのは、エネルギーだけではありません。

ガスパビリオンで、「化ける、未来！」を合言葉に、いのち輝く未来社会への始めの一步を踏み出しましょう。

(*1) グリーン水素等の非化石エネルギー源と CO₂ を原料とし、メタネーションによって製造された合成メタンに対して用いる呼称

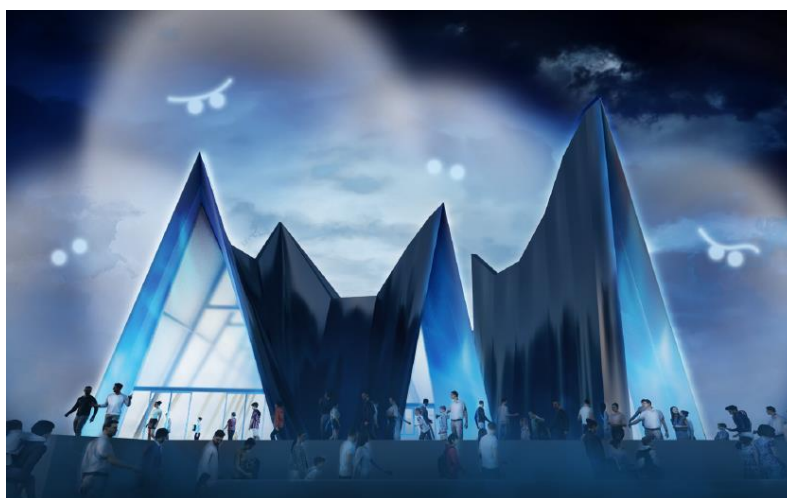
2. パビリオン名称

『ガスパビリオン おばけワンダーランド』

ガスパビリオンでは、「化ける」を象徴するキャラクターとして「おばけ」を用い、「おばけ」たちの不思議な世界「おばけワンダーランド」を展開。「おばけ」たちと一緒に、未来に化けるドキドキ・ワクワクな体験を提供します。

未来を担う子供たちの記憶に残り、豊かな心を育む原体験となる来場者参加型エンターテインメントパビリオンを目指します。

ガスパビリオンの「おばけ」たちに、ぜひ会いにきてください。



【ガスパビリオン おばけワンダーランド イメージパース】

3. 建築デザイン

『化ける、建築』

鏡面の膜に覆われた建物に、風景が映り込み、天候、時間帯、見る位置によって、さまざまな表情に変化する（化ける）ことで、外の世界と建物との境界を曖昧にし、不思議な世界に誘います。

空に向かって高くそびえる大胆な三角形は、希望ある未来に通じるエントランスとなり、奥行きのある敷地に大きな演出空間を生み出します。

夜間には、ライトアップにより、温かさの象徴であり、ガス業界の未来への挑戦でもある「カーボンニュートラルな火」を演出します。

また、建物部材を最大限削減 (Reduce) した上で、膜材などは再使用 (Reuse) し、その他部材は再生利用 (Recycle) を行うなど、3 R に取り組み、万博終了後にも、「化ける、建築」を目指します。膜材には放射冷却素材の「SPACECOOL」(*2)を使用し、空調負荷を軽減し、低炭素化に貢献します。



【建物デザインイメージパース】

- (*2) 大阪ガス株式会社が開発した高性能、高耐久の光学フィルム。太陽光と大気からの熱を遮断し、熱吸収を抑えるだけでなく、放射冷却技術の原理により宇宙に熱を逃がすことで、ゼロエネルギーで外気より低温にする新素材。製造元は SPACECOOL 株式会社

日本ガス協会は大阪・関西万博の成功に向け、引き続き展示内容の詳細検討を進めてまいります。

(参考1) ガスパビリオン位置図



提供：2025年日本国際博覧会協会

(参考2) 一般社団法人 日本ガス協会の概要

所在地：東京都港区虎ノ門1丁目15-12

会長：本荘 武宏

正会員：一般ガス導管事業者193者

目的：都市ガス事業の健全な発達を図るとともに、天然ガスの普及拡大、エネルギーの安定供給と保安の確保、環境問題への対応を通じて社会的貢献を果たすことを目的とする、都市ガス事業者の団体

以上